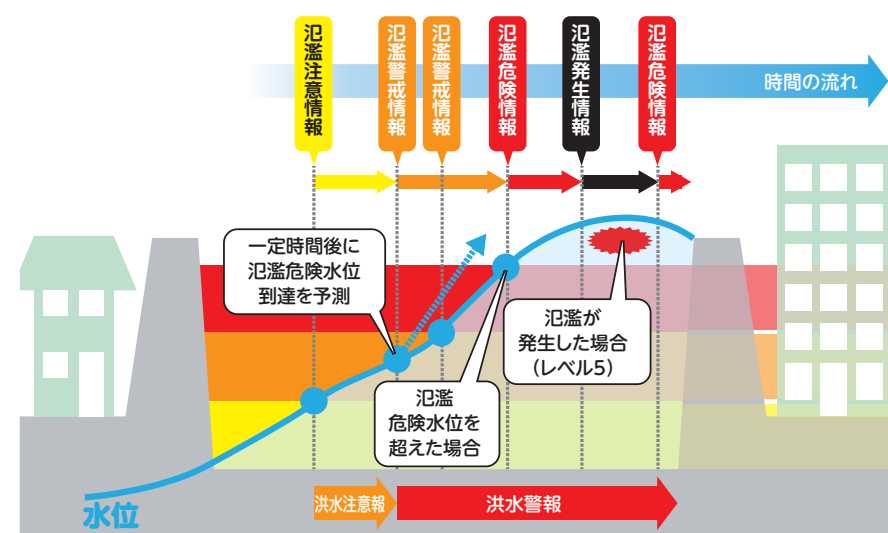


河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



河川名	五ヶ瀬川
観測所	音の谷
氾濫危険水位(レベル4)	6.5
避難判断水位(レベル3)	6.2
氾濫注意水位(レベル2)	6.2
水防団待機水位	5.4

(単位：m)

！ 浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険。

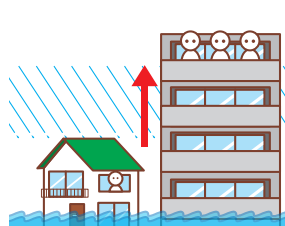
気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



！ 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。

移動途中で、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。

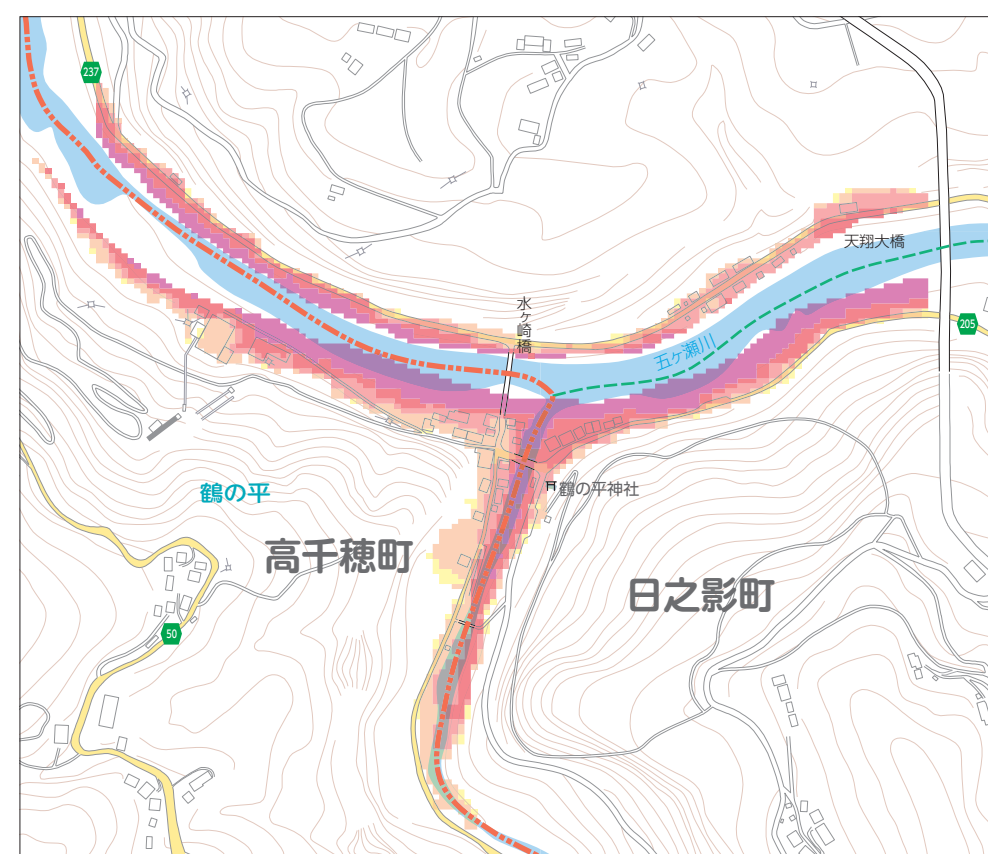


！ 川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行かない。やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子を確認は、自治体などのライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。



五ヶ瀬川浸水想定区域（想定最大規模）



この図は、五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

五ヶ瀬川流域河川過去の浸水実績

凡例

過去の浸水実績

過去の台風や集中豪雨により発生した浸水の被害について、町が把握している情報です。

